

2022年度春季展

所蔵



2022.5.17(火)
————→ 7.14(木)

[開館時間] 10:00-16:30 [閉館日] 土曜・日曜

武庫川女子大学附属総合ミュージアム
Mukogawa Women's University Museum

絵画展

[入館料] 無料 [場所] 武庫川女子大学 学術研究交流館5階ギャラリー
[アクセス] 阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前」から徒歩5分
HPで新型コロナウイルス感染症対策および最新情報を必ずご確認の上ご来館ください。

<https://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum/>



表面:「牡丹花」山口 華揚 裏面:(上段左から)小磯 良平「群像」、安田 鞞彦「紅梅」、片岡 球子「菊」、脇田 和「作品」(下段左から)横山 操「灯台」、田村 一男「桜島」、加山 又造「昆虫」、奥村 土牛「露」

武庫川女子大学附属総合ミュージアムは、平成6年(1994)に開設された武庫川女子大学資料館・ギャラリーに始まります。武庫川学院では建学以来、「高い知性」、「善美な情操」、「高雅な徳性」を教育理念に掲げてきました。特に「善美な情操」については、「感動を覚える素直で広い心を持ち、人の心に潤いと和やかさをもたらすことのできる、深い教養に裏付けられた気品のある豊かな心」を育む、とうたっています。

武庫川女子大学資料館・ギャラリーは、「より豊かな情操教育を目指して、学院創立以来日本を代表する芸術家の作品を中心に収集してきた」学院の方針をふまえて、およそ30年前に開設されました。そのため、当時の収蔵品は、美術と民具の2部門から編成されていました。現在、武庫川女子大学附属総合ミュージアムは、「武庫川女子大学近代生活資料(登録有形民俗文化財:登録番号47)」など、貴重な民俗資料や美術品を多数所蔵し、調査・研究しています。

こうした学院の歴史や意志を受け継ぎ、武庫川学院が所蔵する美術品のうち絵画を、武庫川学院の園児・生徒・学生たちに直接目にしてもらうだけでなく、広く内外に公開するために本展覧会を開催します。作品の選定、展示計画などのキュレーションは、武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科の森本真准教授が行います。

展示資料目録 ※資料番号は展覧会場の列品番号と一致するが、陳列順序とは必ずしも一致しない。

資料番号	資料名	作者名	制作年代	技法	法量(縦×横)mm	備考
1	四天王獅鬚紋様錦	龍村平蔵謹模	制作年不詳	古代裂の復元	730×580	「國寶法隆寺藏 四天王獅鬚紋様錦 龍村平蔵謹模」とある
2	公江喜市郎肖像(複製)	小磯 良平	(原画:昭和<1975年>)	(原画:油彩画)	(原画:1460×970)	原画は公江記念講堂1Fロビーに展示
3	椅子にかける少女	小磯 良平	制作年不詳	エッチング	620×510	
4	群像	小磯 良平	制作年不詳	デッサン	370×560	
5	桜島	田村 一男	昭和<1945年>	パステル画	310×440	
6	露	奥村 土牛	制作年不詳	日本画	380×460	箱蓋「露 土牛(印)」
7	牡丹花	山口 華揚	制作年不詳	日本画	350×470	
8	蓼科の丘	田村 一男	昭和	油彩画	340×250	
9	昆虫	加山 又造	昭和	石版画	80×100	
10	作品	脇田 和	昭和	石版画	90×90	
11	菊	片岡 球子	昭和	石版画	470×330	
12	水芭蕉	田村 一男	昭和	石版画	320×230	
13	灯台	横山 操	昭和	石版画	380×500	
14	草	小林 古径	大正~昭和	日本画	色紙(350×320)	箱蓋「草」箱蓋裏「古径(印)」
15	紅梅	安田 鞞彦	制作年不詳	日本画	色紙(270×240)	

武庫川女子大学附属総合ミュージアム

Mukogawa Women's University Museum

〒663-8184 兵庫県西宮市鳴尾町1-10-21 アクセス:阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前」から徒歩5分

電話:(0798)45-3509 <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum/>

HPで新型コロナウイルス感染症対策および最新情報を必ずご確認ください

